

## 「ようこそ先輩！」(特集号)

### 生徒感想文について

(一部抜粋)

#### 【1 年】

- 実際に通っている人たちの話を聞いて、どういうところが良くわかりました。楽しそうなことばかりで、また、選ぶのが難しくなりそう……。本当に通っている人が 1 番わかっているはずなんです。今日、こうして聞けて、とても嬉しかったです。選ぶ参考になると思います。参考にします。
- 私は、どの高校がどうかこうとか、全然わかっていなかったのも、とても参考になりました。私は、やはり農芸高校にぐっと引き込まれました。農業とか野菜とか和菓子とかは、私は、みんな大好きなもので……。私が反省しようと思ったことが、「もっと勉強しよう」ということです。勉強せず、自分の好きなことばかりしているので「アカンなあ」と。四日市高校のすごいお兄さんが言ってい「小さな時間を見つけて」というのが心に突き刺さりました。グサッと「やはり勉強せな、アカン」としみじみ思いました。
- 平山先輩が言っていた「目標がないと、のろのろしてしまう」という言葉にすごく共感できました。テスト勉強などで、何をするかきちんと決めていなかったりすると、だらだらと引きずってしまうことがあるので、目標を定めて、計画的にしていきたいと思いました。あと、先輩たちは、高校生活をとても楽しんでいるようで、すごい声にハリがあったり、表情がよかったです。第一印象は、そういうところで決まるんだと実感しました。
- 山本裕子さん、瀬古嵩さんと河合大司さんは、小学校の時から登下校の時などでお世話になっていて、最初はびっくりしました。身近な人がこうして高校生活を楽しんでいる、高校まであと少ししかないんだと思いました。高校生になると、友達の輪も広がるし、20 種類以上の部活も選べるし、絶対楽しいと思います。特に、瀬古さんの話が上手で、少しずつでもいいから、習慣をつけていくことが大切だということが分かりました。高校生活を楽しんでいる高校生は、カッコいいです！！



- 一番印象に残った言葉は、「あいさつは、心」、「努力は人をうらぎらない」です。努力しないで、「将来、～になりたいなあ」と思うだけじゃなくて、その夢のために努力をすると、かなわない夢なんてないのではと思いました。みんな緊張していたのに、しっかり私たちが分かるように話をしてくれて、すごくかっこよかったです。



## 【2年】

- 話し方が大人の話方だった。自分の通っている高校について分かりやすく教えてくれて、特に印象に残ったのは、瀬古さんの話です。「一人では何もできない。友達と教え合うから大学に行ける」という言葉と「いきなりやろうとしてもできない。コツコツする重なりが大事」ということが頭に残っています。本当にその通りだと思いました。今年、私は受験生になってテストがたくさんあります。なので、ほんの少しずつでも何かやっていけば、その重なりが次につながるかと思います。今日の話は、とても勉強になりました。
- 自分の第一志望の人が来ていて、すごくためになりました。私の大好きな先輩が、その放送部に入っていて、私も入りたいので、もっと勉強をがんばろう！と思いました。また、瀬古さんのお話は、すごくわかりやすく、四高の魅力がすごく伝わってきて、「四高に入りたいなあ！」という気持ちがよりいっそう高まりました。ちょっと学年末は、だらけてしまったので、四高に入るために3年生でばん回しなければ・・・。
- 私は、今のところ四郷に行きたいと思っています。兄が、今日話された高校2年生の先輩たちと同じ高2で、兄が四郷のことをよく話しているのを聞いているからです。でも、今回、違う高校の話をいろいろ話してくれたので、他の高校にも興味をもつことができました。
- 高校は、いろいろなイベントや部活、コースがあって、にぎやかだなと思いました。今までも聞いていたのですが、目標を高くもつことは、大切なんだなと思った。
- すごい。高校生みんなにあこがれたなあ。高校で、自分の将来やりたいことが決まってくるんだなあって思った。すごくかっこいいなあって、感じました。私も、がんばらないとなあって思いました。かっこいい先輩になれるよう、がんばっていきます。
- 高校生の人、全員が自分の学校に自信を持って、ハキハキと分かりやすく話していて、とても参考になりました。特に印象に残ったのが、目標を高く持つということで、私も目標を高くもって、その目標に向って、頑張っていきたいなと思いました。

